
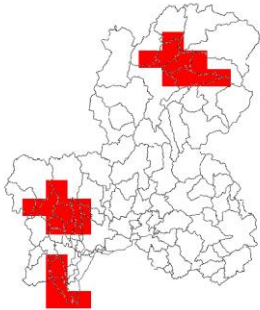


ヒメヒゴタイ	<i>Saussurea pulchella</i> (Fisch. ex Hornem.) Fisch.	絶滅危惧 I 類
(環境省:絶滅危惧 II 類)		キク科
選定理由	生育地が局限されているうえ、個体数が少ない。	写真(高橋弘) 
形態の特徴	茎は高さ50-120cm。葉は全縁か羽状に深裂し、長さ10-18cm。頭花は散房状に密集し、小花は筒状花のみ。総苞は球形で、直径約1cm、総苞片に淡赤紫色の付属体がある。小花は長さ約12mm、淡赤紫色。	
生態的特徴	日当たりのよい草原に生育する。花期は8-10月。	
分布状況	朝鮮、中国東北部、シベリア東部、サハリンに分布し、日本では北海道か九州まで分布する。岐阜県では	
減少要因	開発による生育地の破壊。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責:高橋弘